

探訪 北の風景 103

ハイセイコーと優駿の里 日高管内新冠町

青木和弘

サラブレッドの故郷、日高路の新冠町へ向かった。市街中心部にある「レ・コード館」の周りに「ハイセイコー号」の像と「優駿の碑」がある。

農林水産省の家畜統計によると、馬の種別は5つある。①「軽種」は競走馬のサラブレッドなど②「中間種」は乗馬や競技馬向け③「重種」は大形で体重が重く力があり農耕馬や馬車、挽馬（はんば）などに向く④「ポニー種」は小型でペット向き⑤「日本在来種」は北海道和種（道産子）や木曽馬などだ。

現在、日高管内で生産されているのは、すべて軽種馬のサラブレッドである。体重が約400〜500キログラムでレース用に改良されて足の速い馬である。一方、重種馬は体重が約800キログラムから1トンを上り、馬車引きや農耕、挽

馬競技などで活躍している。

公益法人ジャパン・スタッドブック・インターナショナルの2022年8月末の調査（速報）によると、日本の中央競馬や地方競馬で活躍する競走馬の年間生産頭数は7733頭で、北海道はその98%を占め、日高管内だけでも80%に上る。生産農家の数は全国で784戸（同2021年12月末調査）のうち91%が北海道で、日高管内だけで84%だ。これだけ生産牧場が密集する地域は日本全国どこを探してもここだけである。

襟裳岬から北西に位置する日高が日本の馬産地になったのには訳がある。

一つは気候条件に恵まれている。夏に、オホーツク高気圧と寒流の千島海流が運ぶ冷気と、太平洋高気圧と暖流の黒潮で運ばれてくる湿った暖気が太平洋沿岸でぶつかって霧を発生させる。この冷涼な気候が暑さに弱い馬に適しているのだ。さらに、日高山脈の南西側で積雪が少なく、丘陵と平地が広がり牧草の生育にも向いていた。

もう一つは歴史的な経緯である。1789（寛政元）年、国後島の漁場で過酷な使役に反発したアイヌ民族の暴動が「クナシリ・メシナの戦い」となった。松前藩が鎮圧したのだが、当時、ロシアの南下に危機感を抱いた江戸幕府が、先住民であるアイヌ民族を慰撫するため1799（寛政11）年、東蝦夷地を松前藩から幕府の直轄地に召し上げ、南部、津軽の2藩に警備を任せさせた。その際、日高に60頭の南部馬が持ち込まれた。戻る際に連れ帰らず野に放ったものが野生化したという。1



ハイセイコー号(1970-2000年)の像。生産者は新冠町・武田農場。父はチャイナロック、母はハイユウ。中央競馬に一大旋風を巻き起こし競馬ブームをもたらして競馬の大衆化に貢献。馬産地の日高に多大な経済効果をもたらす先駆けとなった

872（明治5）年に北海道開拓使長官の黒田清隆が日高に生息する野生馬に着目し、約2000頭を囲い込む7万ヘクタールに及ぶ広大な馬牧場を創設している。江戸時代に放った馬が野生化して繁殖していったのだ。その後、エドウィン・ダンによって本格的な日高牧馬場が整備され、1884年に宮内省所管の新冠牧馬場となり、4年後には新冠御料牧場になって、軍馬や挽馬の繁殖・育成、品種改良にあたったという、馬との深い関わりがあったのだ。第二次大戦後は、広大な敷地は解放されて1076戸が入植し農地の開墾を進めた。

日高管内でサラブレッドの生産が本格的になったのは1960年代の高度成長期からだ。新冠の武田牧場の1970年産馬で、日本競馬に一大旋風を巻き起こしたハイセイコーの活躍が競馬ブームを呼び、これが競馬のイメージを賭け事から大衆娯楽に変えたという。ファンは若い女性にも広



競走馬の生産地としての輝かしい実績を歴史に記録し、名馬を称えるために優駿の碑を設置したとある。競馬ファンならずとも知る馬名があちらこちらにある。写真左下にトウカイテイオーの碑がある。写真奥が「レ・コード館」

新冠町の名所の一つが太陽の森デイマシオ美術館。旧太陽小の校舎を利用し、敷地全体に様々な展示がある



幻想画家デイマシオの世界最大の油彩画(高さ9m×幅26m)が体育館にびったり収まり様々な演出もある

がりレースが増え、サラブレッドの需要が増した。馬産地の伝統のある新冠では競走馬生産農家が1・7倍の216戸に増えた。その後、過剰生産で生産調整を行ったので、小規模生産農家が減る一方、規模の拡大が進んでいる。バブル経済のときは、サラブレッドが新興馬主の投機対象にもなったという。今日の馬産地日高はハイセイコーを抜きに語れない。

レ・コード館やハイセイコー像の周りに優駿の碑がずらりと並ぶ。新冠産の名馬であるトウカイテイオーやナリタブライアンなど、よく知られた名前が刻まれている。また、旧三石町(現新ひだか町)産馬のオグリキャップの「優駿記念館」も新冠町内にある。馬産地の日高には乗馬体験など、馬と接することのできる施設がいろいろある。競馬ファンならずとも、サラブレッドが親子で草を食(は)む、のどかな姿には癒やされる。